

平成31年度

# 私費外国人留学生募集要項



名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY

# 名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的综合大学としての責務を持続的に果たす。

## 1. 研究と教育の基本目標

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

## 2. 社会的貢献の基本目標

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

## 3. 研究教育体制の基本方針

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

## 4. 大学運営の基本方針

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

# 目 次

	頁
名古屋大学の教育を支える3つの方針 .....	1
各学部の教育を支える3つの方針 .....	3
I 出願資格及び要件 .....	16
II 募 集 人 員 .....	19
III 選 抜 方 法 .....	20
1. 試験期日 .....	20
2. 試験科目及び試験時間等 .....	20
3. 実施方法及び出題範囲 .....	21
IV 出 願 手 続 .....	23
1. 出願書類の提出方法 .....	23
2. 出願期間 .....	23
3. 出願に要する書類等 .....	23
4. 受験票の交付 .....	25
5. 障害のある者等の出願 .....	25
6. その他 .....	25
V 受 験 上 の 注 意 .....	25
VI 合 格 者 発 表 .....	25
VII 入 学 手 続 .....	26
VIII 個人情報の取扱い .....	26

IX 平成30年度 名古屋大学私費外国人留学生入試 志願者・受験者・合格者数一覧 .....	32
名古屋大学の概要 .....	33
募集要項，大学案内及び学部紹介冊子の請求方法 .....	39

## 名古屋大学の教育を支える 3 つの方針

### ●名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「**学術憲章**」(2000年制定)で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1)名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2)名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ**勇気ある知識人**を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り6名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれることのない自由闊達な学風の下、多数の進取の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「**勇気ある知識人**」を育成する人間像として示しています。

「**勇気ある知識人**」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇気と知性を持ち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「**勇気ある知識人**」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって育成しています。

### ●3 つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、②教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、③入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)という3つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修了生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら3つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、3つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた3つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

[学士課程]

名古屋大学は、各学部の教育目標と基準に沿った資質・能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていく「勇氣ある知識人」として、それぞれの学術分野で、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

[学士課程]

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

## 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

[学士課程]

名古屋大学は、未来の「勇氣ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「勇氣ある知識人」の育成を目指しています。「勇氣ある知識人」として必要な資質・能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身に付けた土台の上に立つてこそ、勇氣ある知識人への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせた入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

## 文学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

文学部は、以下に示す資質・能力等を備え、卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学位を授与します。

文学部が授与する学位は、言語・文化・歴史に対する深い探究心と社会・環境への強い関心を持ち、高い異文化理解力を備えた人材であり、また、人文学的教養を通して、国際社会・地域社会の諸問題の解決に寄与しうる人材であること、そして、「高い異文化理解能力と言語運用能力」、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」、「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション力」、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を備えていることを証します。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

文学部の卒業要件は、原則として4年以上在学し、所定の授業科目のうち、全学教育科目を48単位以上、専門科目を84単位以上、合計132単位以上を履修し、かつ卒業論文の試験に合格することです。なお、専門科目の単位数には卒業論文10単位が含まれます。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部では、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げる資質や能力を身につけた人材を育成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ① 全学教育科目の中の言語文化科目によって、「高い異文化理解能力と言語運用能力」の基礎を身につけます。
- ② 全学教育科目の中の基礎セミナーによって、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」および「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション力」の基礎を身につけます。
- ③ 全学教育科目の中の文系基礎科目や文系教養科目で、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」の概略を学びます。
- ④ 専門科目の履修によって、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」を修得し、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」や「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション能力」、「高い異文化理解能力と言語運用能力」を高めます。
- ⑤ これらの能力について、小論文や筆記試験、口頭発表、討議への貢献度など、各授業において定める方法によって単位認定を行います。
- ⑥ 卒業論文を書き上げることによって、これらの能力が身についたことを確認します。
- ⑦ カリキュラム全体の履修を通して、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を身につけます。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

文学部では、養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力を備え、人間の営為としての言語・文化・歴史に深い関心を持ち、社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考えることに意欲がある人」を入学者として選抜します。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、提出書類、小論文の成績および面接の結果を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は提出書類および面接によって判定します。「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、提出書類、小論文、面接によって総合的に判定します。

## 教育学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

本学部は、人間の成長発達と教育をめぐるさまざまな問題を研究の対象とする教育発達科学の知見と方法を総合的に学ぶことによって、論理的・批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力を有し、省察と探究の習慣を自ら育むことができ、人間と社会の諸問題に絶えず関心をよせ、勇気と熱意をもって向き合い、問題解決に協働的に取り組むことのできる人材、さらには、社会的正義の感覚を有し人類と社会の調和的発展とウェルビーイングに貢献できる人材の育成を目的としています。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

学士学位授与のためには、全学の「名古屋大学の教育を支える3つの方針」に則って開講される「全学教育科目」（合計48単位以上）ならびに、上記の目的のために本学部で開講される「教育学部専門科目」（専門科目、コース科目、卒業論文、合計84単位以上）を履修することが要件となります。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### （1）教育課程の編成方針

本学部の教育課程は、全学共通の教育目的、および本学部のディプロマ・ポリシーに掲げられた目標を達成するために、教養教育の基盤の上に、有機的で構造的に編成された専門教育、すなわち、1学科（人間発達科学科）5コース（教育学系の生涯教育開発コース、学校教育情報コース、国際社会文化コース、心理学系の心理社会行動コース、発達教育臨床コース）から構成されています。

具体的には、1年次および2年次の科目履修において、教養教育と専門科目は有機的に関連づけられ、「全学教育科目」によって育まれた「高度で幅広い教養」を基盤に、「専門基礎科目」の履修により、専門領域への導入（専門基礎的な知識と技能の獲得）が図られます。3年次と4年次においては、発展的、応用的な専門科目である「コース科目」を履修し、この間の探究の成果として、指導教員の研究指導の下で「卒業論文」を作成します。

#### （2）教育課程の実施方針

「全学教育科目」の履修により、人間と社会の諸問題に対する関心を高め、また専門分野の基礎的技法となるコミュニケーション能力や論理的・批判的思考力と判断力を養います。

「教育学部専門科目」では、まず「専門基礎科目」の履修により、人間発達科学の基盤的研究について幅広く学ぶことにより、さまざまな視点と知見、基礎的な研究技法を習得します。次に「コース科目」は、本学部が比較的小規模である長所を活かし、いずれの開講形態（講義、演習、実験演習、各種の実習、各種の調査研究）も少人数で実施し、これらの履修により、省察と探究の精神、問題解決能力、協働性とリサーチ・マインドの育成が目指されます。教育課程の学修成果の仕上げとなる「卒業論文」では、指導教員の研究指導の下で、独自の研究テーマを設定し、特定の研究方法による省察と探究が求められます。卒業論文の作成を通して、人間発達科学の知見とそれを基盤とした人類と社会の発展とウェルビーイングに貢献できる人材の育成が目指されます。



## 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

### （１）入学者受入れの方針

本学部は、人間の成長発達と教育をめぐるさまざまな問題を研究の対象とする教育発達科学の知見と方法を総合的に学ぶことによって、論理的・批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力を有し、省察と探究の習慣を自ら育むことができ、人間と社会の諸問題に絶えず関心をよせ、勇気と熱意をもって向き合い、問題解決に協働的に取り組むことのできる人材、さらには、社会的正義の感覚を有し人類と社会の調和的発展とウェルビーイングに貢献できる人材の育成を目的としています。

上記の目的を理解したうえで本学部への進学を志望する者には、次のような能力や資質が求められます。

- １） 人間発達科学を学ぶための基礎的学力
- ２） 人間の成長発達と教育をめぐる多様な事象と問題に対する関心と問題意識
- ３） 人間と社会の諸問題に対して深い関心をもち、教育と発達および社会的正義の視点から探究し、問題解決を志向し、人類と社会の調和的発展に貢献しようという意欲と熱意

### （２）選抜の基本方針

#### ○私費外国人留学生入試

多様な文化的社会的バックグラウンドをもつ国内外の外国人留学生に対して、本学部での学習に必要な日本語能力、人間発達科学を学ぶための基礎的学力を評価するため日本留学試験(日本語, 総合科学, 数学コースⅠ)を課すとともに、上記の能力・学力に加え、人間の成長発達と教育をめぐる多様な事象と問題に対する関心と問題意識、さらには人間と社会の諸問題について教育と発達および社会的正義の視点から探究し、問題解決を志向し、人類と社会の調和的発展に貢献しようという意欲と熱意を評価するため、提出書類と個別学力検査（小論文ならびに面接）の総合評価により選抜を実施します。

## 法学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

法学部は、社会のルールとしての法律学・政治学の総合的な知識の修得を通じて、大局的見地に立って的確な価値判断・意思決定を行うことができ、現代社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与し、未来を切り拓いていくことができる人材を育成します。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

法学部では、全学教育科目を「専門系」（基礎セミナー、文系基礎科目）と「非専門系」（その他）とに分類し、全学教育「専門系」科目 12～14 単位、同「非専門系」科目 36 単位、法学部「専門科目」82～84 単位（関連専門科目として、他学部の専門科目を 20 単位まで含めることができます）、合わせて 132 単位の修得を通じて、教育目標に掲げる人材であると証される者に、卒業を認定し、学士（法学）の学位を授けます。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

法学部は、グローバル化社会に対応するための法律学・政治学の総合的な知識を修得し、大局的見地に立ってものごとを総合的に判断する能力を養うための教育課程により、学生を育てます。法律学・政治学の総合的な知識を修得するため、専門に関わる基礎的な科目として「現代日本の司法」「法と政治の思想」「近代日本の政治と外交」「現代日本の外交・国際関係」「現代日本の政治と行政」を1年次に配置するとともに、いわゆる六法（「憲法」「民法」「刑法」「商法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」）以外にも、2年次からは「経済法」「日本法制史」「西洋法制史」「法学史」「政治学原論」「行政学」「西洋政治思想史」等、3年次からは「行政法」「租税法」「環境法」「労働法」「知的財産法」「社会保障法」「法哲学」「法社会学」「政治過程論」「東洋政治思想史」「日本政治史」「地方自治論」「ジェンダーと政治」等の多様な専門科目を、段階的・体系的に配置しています。グローバル化社会に対応するための専門科目としては、「国際法」「国際私法」「比較国制論」「ロシア法」「中国法」「国際政治学」「国際政治史」等を配置しています。

大局的見地に立ってものごとを総合的に判断する能力を養うため、法律学・政治学にとっての専門系科目の学習を豊かに支える科目として、「地球科学入門」等の全学教育「非専門系」科目を配置しています。同じ目的から、それぞれの学生の自主的な科目選択を尊重しつつも、「木を見て森を見ない」ことにならないように、全学教育科目の文系基礎科目のうち、「日本国憲法」「法学」「政治学」は、履修しても法学部の卒業単位にはならないこととしています。

また、複雑化し価値の多元化が進み、さまざまな問題が生じている現代社会において、そのような問題の解決に向けて積極的に寄与する資質・能力を培うための教育実践および学修指導を適切に実施します。そのプロセスにおいては、アジア諸国を中心とする国際的な連携や、少人数教育を重視しています。そのような観点から、全学教育科目の「基礎セミナー」、専門科目の「演習」「法政実習（インターンシップ）」「卒業論文」等を配置しています。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

法学部は、社会のルールとしての法律学・政治学を学ぶことを通じて、大局的見地に立って的確な価値判断・意思決定を行い、グローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与し、未来を切り拓いていくことを目指し、かつ、そのために必要となる資質や能力を備えた人を、国内外に求めます。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

小論文と面接を日本語で実施し、幅広い基礎学力およびグローバル化社会のさまざまな問題の解決に向けて積極的に寄与するために必要な意欲や能力を評価します。面接には、筆記試験問題（小論文）に関連する追加質問のほか、専門分野に関する学習到達度の確認を目的とする口頭試問が含まれます。

## 経済学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

経済学・経営学の知識やリーダーとしての資質を身につけ、現代の経済社会が直面する諸課題に挑戦し、解決できる人を育てます。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

卒業論文を含み、全学基礎科目、文系基礎科目、理系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目、専門基礎科目、専門科目、関連専門科目について所定の単位（全学教育科目48単位、専門基礎科目28単位、専門科目・関連専門科目56単位以上）を修得した者に対して、（1）の教育目標が求める資質や能力が育成されたものと総合的に判断し、学士の学位を授けます。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

経済学部は、「経済学・経営学の知識やリーダーとしての資質を身につけ、現代の経済社会が直面する諸課題に挑戦し、解決できる人の育成」を学部教育の目標としています。全学共通の教育目的に照らして設定した、経済学部の教育目標を達成するために、

- （1）全学教育科目で幅広い教養を修得する、
- （2）専門基礎科目で各専門分野の基礎知識を確実に修得する、
- （3）専門科目（卒論研究を含む）と関連専門科目で基礎知識を応用する能力を育成する、

という三つの基本方針を打ち立てて、経済学・経営学において必要とされる幅広い教養を学ばせ、それを基礎として学術の理論および応用を習得させるよう、カリキュラム設定をしています。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

経済学・経営学の専門的な知識を学ぶための基礎的な学力を備え、ダイナミックに変化する現代の経済社会への鋭い関心を持って、経済活動に関わる諸問題を理論的・実証的に探究することができる学生の入学を求めます。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生として、日本で経済学・経営学について学ぶ強い勉学意欲と基礎的な学力を備えた優秀な者を、日本留学試験と TOEFL 及び、小論文試験と面接により選抜します。

## 情報学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

情報学部は、以下の基準にそった学力及び資質・能力等の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学位を授けます。

情報学部の学位は、細分化した学問諸分野を統合していくハブの役割を果たすと期待される「情報学」の教育と研究を通して、次のような資質・能力等が培われたことを証します。

- 1) 情報学の知見を駆使して、取り組むべき課題を発見し、それを解決できる
- 2) 情報学の知見を駆使した、組織マネジメントや制度設計について理解している
- 3) 情報社会の基盤となる仕組みやシステムの構想・設計について理解している

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

情報学部においては、全学教育科目は、全学基礎科目、文系基礎科目、文系教養科目、理系基礎科目、理系教養科目、全学教養科目から各学科が定める履修要件により44単位以上修得します。専門系科目は専門基礎科目、専門科目、関連専門科目、卒業研究からなります。専門基礎科目から30～34単位、専門科目から38～50単位、関連専門科目から2～10単位の合計84単位以上を修得します。専門科目には、卒業研究6単位が含まれます。卒業要件は、原則として4年以上在学し、合計128単位以上を修得し、かつ卒業研究の審査に合格することです。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報学部では、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で掲げた資質を共通して涵養するために、想定される社会での活躍場面に応じた、より専門的な知識・技能・態度を獲得することを可能とする専門教育の課程を次の科目により編成します。

#### 1) 全学教育科目

「基礎セミナー、言語文化、健康・スポーツ科学、文系基礎科目、文系教養科目、理系基礎科目、理系教養科目、全学教養科目」

#### 2) 専門基礎科目

「スタートアップ科目群」

「情報科学技術の基礎となる科目群」

「自然や社会をシステムとして理解する基礎となる科目群」

「論理的に課題を発見・解決するための基礎となる科目群」

#### 3) 学部共通の専門科目「社会とのインタラクションのための科目群」

「情報倫理と法」、「アカデミック・イングリッシュ」、「アカデミック・ライティング」、「マネジメント」等

#### 4) 学科ごとの専門科目

#### 5) 関連専門科目

#### 6) 卒業研究

情報学部では、共通的な資質と高度な専門性を兼ね備えた融合的人材を育成するため、全学教育科目、

学部に共通の科目（専門基礎科目、および、学部共通の専門科目）、学科ごとの専門科目、関連専門科目、卒業研究で教育課程を編成します。一定の専門性を身につけた上で、さらに専門性を超えた知識・技能・態度を涵養するため、学部共通科目を、1～2年生だけでなく3～4年生に対しても配置します。

これら適切に配置された科目を修得することによって卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で掲げた3つの資質・能力等を兼ね備えた人材を育成します。

## 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

### （1）入学者受入れの方針

情報学部は、情報学の各分野の研究者になりうる人材のみならず、情報学を駆使して、新しい価値の創出、課題の発見と解決、情報社会の基盤的仕組みの構想・設計等ができる人材、あるいは、企業や政府機関・国際機関等の組織を情報の観点からマネジメントできる人材、情報学に通じた科学諸分野の研究者になりうる人材を養成することを目標としています。そのため、このような人材育成の基盤となる次のような資質を持った多様な学生を、幅広く対象として入学者選抜を実施します。

- ア 幅広い情報学の知識とスキルを身につけるために必要な、十分な基礎的学力を有していること。（学部共通）
- イ 情報の観点から世界を理解し、情報技術を駆使して諸科学を革新しようとする意欲を有すること。（主に自然情報学科）
- ウ 社会の抱える問題と未来の社会像について問題意識をもち、情報学を用いて問題を解決し価値を創造しようとする意欲を有すること。（主に人間・社会情報学科）
- エ 社会と調和し、社会に価値をもたらす情報技術を創造しようとする意欲を有すること。（主にコンピュータ科学科）

自然情報学科、人間・社会情報学科、コンピュータ科学科への多様な資質と興味を持った学生を獲得するために学科ごとに選抜します。

### （2）選抜の基本方針

#### ○私費外国人留学生入試

情報学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れ、特に情報を活用して人類の課題に挑む意欲のある者を選抜します。

情報学部の私費外国人留学生入試による募集人員は若干名とし、選抜方法は、小論文と面接により行い、合格者を決定します。（出願要件は学科によって異なります。）

## 理学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

自然の理を解き明かそうとする探究心をもち、独創的で、柔軟な思考ができる人を育てます。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

学位を取得するためには、入学後、本学部に4年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位（数理学科 138 単位，物理学科 132.5 単位，化学科 131.5 単位，生命理学科 132.5 単位，地球惑星科学科 133 単位）以上を修得することが必要です。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部は、「自然の理を解き明かそうとする探究心をもち、独創的で柔軟な思考ができる人の育成」を教育目標としています。自然への探究心を涵養し独創的で柔軟な思考力を育成するために、理学部は年次進行に沿って下記の方針を定めています。

- （1）初年次教育は、基礎を学びながら自分の進みたい学科を選ぶ期間を設定しています。
- （2）数学や理科の基礎科目はもちろん、物事に対する考え方や議論の方法そのものを学ぶ専門リテラシー、人文社会系の教養科目、外国語など、高度知識人に相応しい教養を身につけます。
- （3）1年終了時に、希望や成績などによって各学科への配属が決定される学科分属制度を採用しています。この制度は、理学部の大きな特長で、総合的な視座から研究や社会をリードできる人材を育成しようとする考えに基づいています。
- （4）2年次以降は、各学科に分かれて、基礎から専門的な講義までを体系的に受講します。演習を取り入れ、実験系では多くの時間を実習にあてて重点的な指導を行っています。いずれの学科でも最新の研究成果を取り入れた教育を行っています。加えて、他学科の講義も履修でき、自然科学の基礎知識を一層広げることができます。
- （5）4年次には、さらに専門的な講義を実施するとともに、各研究室に配属されて、これまで3年間の蓄積を実際の研究現場で活用し、自主的な学習と研究による卒業研究に取り組みます。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

自然界を貫く真理の探究に挑むため、総合的な基礎学力に加えて理学の諸分野における幅広い教養と深い知識を持ち、チャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれた、瑞々しい創造力をもつ人を求めています。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、日本留学試験（日本語、理科、数学）および TOEFL、提出書類によって総合的な基礎学力を測ります。また、面接により理学の諸分野における教養の幅広さと知識の深さ、チャレンジ精神と知的好奇心、日本語能力、表現力、説明力を測ります。

## 医学部（医学科）の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな想像力・独創性と使命感を持って医学研究および医療を推進する人を育てます。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

全学教育科目をはじめ、基礎医学、社会医学及び臨床医学からなる専門科目、臨床実習について所定の単位（全学教育科目 51 単位、基礎医学、社会医学及び臨床医学からなる専門科目 99.5 単位、臨床実習 58 単位の計 208.5 単位）以上を修得した者に対して、このような資質や能力が育成されたものと総合的に判断し、学士の学位を授けます。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学部は、本学の教育目的に基づき、「科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな創造力・独創性と使命感をもって医学研究及び医療を推進する人の育成」を学部教育の基本方針としています。全学共通の教育目的に照らして設定した、医学部の教育目標を達成するために、医学科において下記の施策を実施しています。

#### 医学科

(1)全学教育として開講されている、基礎医学を学ぶための科目をとおして、医学教育の根幹を学ぶ機会を設けています。

(2)PBL チュートリアルなどの問題立脚型の学習方法を導入し、自ら課題を発見し解決する能力を養成します。

(3)問題解決のための科学的論理性やコミュニケーション能力を適正に評価するシステムを確立します。

(4)世界最高の教育水準にある海外大学医学部との単位互換プログラムを実施し、その充実を図ります。

(5)教員が世界の医学教育改革の潮流に対応できる教育手法を習得するためのファカルティ・デベロップメント（FD）活動を推進します。

(6)社会の要請に応え、最先端研究を推進する研究医と地域医療に貢献する臨床医の養成に努めます。

(7)基礎医学・社会医学・臨床医学の講義・実習をとおして、科学的論理性を養います。

(8)基礎セミナー・基礎医学セミナーをとおして、豊かな想像力・独創性を養います。

(9)医学入門・社会医学実習・臨床実習をとおして、倫理性・人間性を養います。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

豊かな人間性、高い倫理性、科学的論理性を備え、創造力に富む医師・医学研究者へと成長するために必要な能力と資質を備えた学生を求めています。そのために、幅広い教養及び十分な基礎学力のみならず、知的好奇心や科学的探究心をもって新たな分野を開拓するような意欲を持ち、物事を多面的に捉え深い洞察力を持って発展させることができる思考力を有し、人間に対する共感や高い協調性といった医学に携わる者としての適性を兼ねそなえた入学者を選抜します。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

筆記試験では生命科学を中心とした基礎学力を評価します。面接試験では基礎学力に加えて、卒業時に医師国家試験に合格するに足る日本語能力を計るための選抜を実施しています。

## 医学部（保健学科）の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

保健学科では、知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心を有する人を育てます。また、科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな想像力・独創性と使命感を持って保健医療を推進する人を育成します。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

教育目標と基準に沿った資質・能力を満たした者に卒業を認め、学士の学位を授けます。卒業には、全学教育科目を33単位以上（全専攻共通）に加え全専攻とも卒業研究（4単位）を含み、看護学専攻91単位、放射線技術科学専攻92単位、検査技術科学専攻91単位、理学療法学専攻91単位、作業療法学専攻94単位以上の専門系科目を修得する必要があります。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

保健学科は「科学的論理性と倫理性・人間性に富み豊かな想像力・独創性と使命感をもって保健医療を推進する人の育成」を学部教育の基本方針としています。将来の保健医療を担うリーダーとなりうる人材の育成をめざし、看護学・放射線技術科学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学の5専攻を設けています。医学部の教育目標を達成するために、以下のような教育課程を用意しています。

（1）1年次には、主として全学教育科目と専門（基礎）科目の一部を学びます。全学共通科目では、幅広い学問体系の知識を獲得し、総合的な分析・把握力・論理性に裏付けされた基礎的な主体性や探究心を、また豊かな人間性を育みます。また、専門基礎科目として、解剖学・生理学や生命倫理学などの5専攻共通基礎科目を通して専門技術に不可欠な保健医療の幅広い知識を習得し、科学的論理性や主体的な創造性の基礎を育成します。（2）2年次以降は、各専門の段階的な講義・演習・実習の教育カリキュラムを設け、各領域の専門科目で高度な専門知識や技能の取得に加え、幅広い視野と高い倫理性を身につけます。（3）3年次および4年次には、医療福祉機関や地域において臨地・臨床実習を行い、これまで習得した知識の実践的活用方法および保健医療の実際を学びます。また、使命感をもつ保健医療人との関わりから、保健医療への使命感や立ち向かう探究心を育成します。あわせて、各研究室に配属のうえで卒業研究に取り組み、科学的論理性や独創性、豊かな想像力による問題発見・解決能力を身につけます。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

保健学科では、未来の「勇気ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。保健学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。入学者が次のような資質を有することを期待します。

1. 生命への畏敬の念、弱者への思いやり
2. 科学的探究心と積極的意欲並びに行動力
3. 多様な価値観を受け入れる寛容さ
4. ボランティア精神とフロンティア精神
5. 穏やかな情緒と協調性



## (2) 選抜の基本方針

### ○私費外国人留学生入試（保健学科放射線技術科学専攻を除く全専攻）

提出された出願書類により，保健学領域への意欲や基礎的な能力を評価します。また日本留学試験および TOEFL により，基本的な学力ならびに日本語の理解に加え，小論文と面接により，保健学分野への適性や積極性を評価し，これらを総合的に判断します。

### ○私費外国人留学生入試（保健学科放射線技術科学専攻）

提出された出願書類により，保健学領域への意欲や基礎的な能力を評価します。また日本留学試験および TOEFL により，基本的な学力ならびに日本語の理解に加え，面接により，保健学分野への適性や積極性を評価し，これらを総合的に判断します。

## 工学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人を育てます。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

各学科の教育課程に沿って、十分な教養と専門知識・技術を修得し、卒業判定に合格することが必要です。卒業要件単位数は、全学教育科目が45.5～49.5単位、専門系科目が卒業研究を含め84～89単位で、合計133～137単位です。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

工学部は、「工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人の育成」を学部の教育目標としています。この目標を達成するため、学部教育の基本方針を次のように定めています。

- （1）科学的な基礎知識と工学基礎を充実させます。
- （2）人文・社会科学等の関連する学問分野についての幅広い視野を確立させます。
- （3）基礎知識を柔軟に適用する豊かな応用力を養成します。
- （4）将来の創造性につながる基礎学力と技術・研究のあり方に対する基本的な素養を養成します。
- （5）十分な基礎知識を教授した後、多様な専門分野の選択肢を提供し、必要な専門性を養います（Late Specialization）。

これらの教育方針にそって、全学教育科目の基礎のもと、学科ごとに教育プログラムを編成しています。専門系科目を専門基礎科目、専門科目、関連専門科目に区分し、それぞれの科目区分の中に、講義、演習、実習、実験などの多様な形態の授業を配置し、学年進行にそって、基礎力、応用力、創造力・総合力が段階的に涵養されるよう配慮しています。

学部教育カリキュラムは卒業後、大学院に進学しさらに高度な学問分野の修得と研究を行う学生のために必要な基本的な内容を網羅するとともに、大学院の教育カリキュラムとの密接な関係をもつように配慮しています（3+3+3型教育システム）。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

自然科学に対する強い興味と、人間や社会に対する幅広い関心を持ち、工学を学ぶための基礎学力と素養をもった意欲のある人を求めています。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

入学者受入れの方針にしたがって、特に、工学を学ぶための基礎学力と素養をもった意欲のある人材を選抜します。具体的には、語学力（日本語および英語能力の外部スコア）の評価に加えて、各学科において実施する個別学力検査により、基礎的な学力を評価し、選抜します。

## 農学部の教育を支える3つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）育成する人材像（教育目標）

農学領域における科学的知識と基礎的技術を身につけ、生物に対する深い理解と論理的思考力に裏付けられた総合的判断力をもって将来を切り拓いていく教養豊かな知識人を育てます。

#### （2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

全学教育科目、学部専門基礎科目、卒業論文研究を含む学部専門科目について所定の単位を修得した者に対して、農学の学術分野における資質や能力が育成されたものと総合的に判断し、学士の学位を授けます。卒業に必要な単位数は、全学教育科目 49 単位、専門基礎科目 42 単位、専門科目 45 単位の計 136 単位です。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

農学部は、「食・環境・健康」に関して多様な視点から問題を発見・解決できる力を養うとともに、大学院教育との連携や社会からの要請に応えるために、以下の教育プログラムを実施しています。

- （1）基礎学力の養成：1・2年次では、あらゆる学問分野の基礎となる全学教育科目を履修して、基礎学力を養成します。
- （2）農学領域における基礎知識と関連する技術の習得：1・2年次では、3学科に共通して必要な生物系・化学系・数物系の基礎科目、「食・環境・健康」に関わる課題認識のための基礎科目「生命農学序説」、情報教育科目「情報リテラシー入門」などを履修して、基礎知識を習得します。
- （3）自発的、継続的に学ぶ能力の習得：科学・技術・社会に対する視野を広げるとともに、今後の学修の方向性や取り組み方を考えます（「生命農学序説」「生命と技術の倫理」など）。また、科学英語の読解能力、プレゼンテーション能力、課題解決能力の向上を目指します（「農学セミナー」など）。
- （4）課題を見出し、学んだ知識や技術を応用して解決する能力の習得：3・4年次では、様々な学問領域につながる専門科目の講義と実験実習、また専門横断的科目（「フードシステム論」など）や各種資格の取得に必要な科目を履修し、生物のもつ機能の多面的な利用と技術開発に関する方法論や専門知識を学びます。
- （5）グローバルな視野をもって行動し、社会に貢献できる人材の養成：各学科の実習、研修、講義を通じて農学領域における国内外の諸問題を発見・解析・探求する能力を養います（「海外実地研修」など）。
- （6）卒業論文研究：4年次を各専門分野に対応した専門教育の期間と位置付け、学生が研究室に所属して、学生が主体となって卒業研究に取り組み、最先端研究の一端を担うことで、高度な専門知識と課題解決方法を習得します。

### 入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

#### （1）入学者受入れの方針

「食・環境・健康」に関わる学問を探究するために必要な基礎的学力を有し、それぞれの専門分野で指導者や専門家として知識と技術を社会に役立てようという志をもつ人材を求めています。

#### （2）選抜の基本方針

##### ○私費外国人留学生入試

私費外国人留学生選抜においては、日本留学試験の成績、TOEFL の成績、提出書類、小論文および口頭試問を含む面接での評点をもとに総合的に評価します。志望学科に対する明瞭な志向と将来を見据えた明確な勉学目的をもち、学習成績・人物ともに優れた人を選抜します。

# 平成31年度名古屋大学私費外国人留学生募集要項

私費外国人留学生として本学への入学を志願する者に対して、大学入試センター試験を免除し、一般の入学試験とは別に入学試験を実施します。

## I 出願資格及び要件

本学の私費外国人留学生入試に出願することができる者は、次の1の出願資格を有し、かつ、2の要件を満たす者とします。

### 1. 出願資格

次の(1)及び(2)に該当する者

(1) 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）

(2) 次のいずれかに該当する者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

オ グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を有する者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

カ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められた者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

【注】(1) 上記出願資格の「外国において、学校教育における12年の課程」には、日本の教育課程による期間も含まれますが、高等学校又は高等学校に対応する学校の課程を卒業（修了）した者及び平成31年（2019年）3月31日までに卒業（修了）する見込みの者は、出願が認められません。なお、不明な点は本学教育推進部入試課まで照会してください。

(2) 上記「ア」の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は次のものが含まれます。

一 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

二 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（別表1<sup>\*</sup>）及び（別表2<sup>\*</sup>）上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程等を修了し、かつ、平成31年（2019年）

3月31日までに18歳に達するもの

三 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了したもの

四 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた（別表3<sup>\*</sup>）に掲げる教育施設の当該課程を修了した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

五 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた（別表4<sup>\*</sup>）に掲げる教育施設の当該課程を修了した者で、第二号の準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

※別表1～別表4については、27頁～31頁を参照してください。

(3) 上記「オ・キ」により出願する者は、個別の入学資格審査が必要となりますので、下記の期間に申請してください。なお、審査対象、申請手続等の詳細については、本学のホームページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/>→入学案内→学部入試の概要→入学資格個別審査のご案内→審査内容（私費外国人留学生入試））で確認してください。

申請期間 平成30年10月1日（月）～11月1日（木）[必着]

## 2. 要件

次の(1)及び(2)を満たす者

(1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の科目のうち本学が指定した下記の科目を平成30年度に受験し、下記の要件にある得点を取得した者

学部（学科）	受 験 科 目	要 件
・文学部・教育学部 ・法学部・経済学部	日本語、総合科目、数学コース1	日本語（読解、聴解、聴読解）：220点以上 総合科目・数学コース1：265点以上
・情報学部 （人間・社会情報学科）	日本語、総合科目、数学コース1	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：250点以上 総合科目・数学コース1：265点以上
・情報学部 （自然情報学科） ・農学部	日本語、理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：250点以上 理科・数学コース2：265点以上
・情報学部 （コンピュータ科学科）	日本語、理科（物理1科目及び「化学、生物」から1科目選択の合計2科目）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：250点以上 理科・数学コース2：265点以上
・理学部	日本語、理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：320点以上 理科・数学コース2：300点以上
・医学部（医学科）	日本語、理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：360点以上 理科・数学コース2：320点以上
・医学部（保健学科）	日本語、理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：300点以上 理科・数学コース2：265点以上
・工学部	日本語、理科（物理、化学）、数学コース2	日本語（記述、読解、聴解、聴読解）：300点以上 理科・数学コース2：265点以上

【注】受験科目の出題言語は、日本語を選択し受験してください。

(2) TOEFL を出願前 2 年以内に受験し、下記の学部（学科）が指定したいずれかの得点を取得した者

学部（学科）	要件
・文学部 ・教育学部 ・法学部 ・情報学部 ・医学部（保健学科） ・農学部	TOEFL-PBT 500点以上 TOEFL-iBT 61点以上
・経済学部 ・理学部 ・工学部	TOEFL-PBT 527点以上 TOEFL-iBT 71点以上
・医学部（医学科）	TOEFL-PBT 574点以上 TOEFL-iBT 90点以上

TOEFL を受験する場合は、「Official Score Report」を主催団体の ETS（Educational Testing Service）から本学へ送付する手続きを必ず行ってください。

なお、ETS からの「Official Score Report」が本学の出願期間最終日までに届かない場合は、書類不備のため出願を受け付けません。

**\* 出願期間直前の10月・11月は、ETS に「Official Score Report」の発行手続きをしても、本学に届くまで2ヶ月以上の時間がかかる場合があるため、遅くとも出願の2ヶ月以上前までに、受験のうえ発行手続きを行ってください。**

本学の TOEFL における DI コード（Designated Institution Code）は「0312」です。

また、TOEFL-ITP のスコアは利用できません。

**\* 「日本留学試験」についての照会先**

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課  
 〒153-8503 東京都目黒区駒場 4 丁目 5 番 29 号  
 TEL：(03)6407-7457

**\* 「TOEFL」についての照会先**

ETS Customer Support Center in Japan  
 TEL：(0120)981-925

## Ⅱ 募 集 人 員

募集人員は、下記のとおりです。

情報学部、理学部、医学部、工学部及び農学部については学科・専攻別により募集します。

学 部 ・ 学 科 等		募 集 人 員	
文 学 部		若 干 名	
教 育 学 部		若 干 名	
法 学 部		若 干 名	
経 済 学 部		若 干 名	
情 報 学 部	自 然 情 報 学 科	若 干 名	
	人 間 ・ 社 会 情 報 学 科	若 干 名	
	コ ン プ ュ ー タ 科 学 科	若 干 名	
理 学 部	数 理 学 科	若 干 名	
	物 理 学 科	若 干 名	
	化 学 科	若 干 名	
	生 命 理 学 科	若 干 名	
	地 球 惑 星 科 学 科	若 干 名	
医 学 部	医 学 科	若 干 名	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 名
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	若 干 名
		検 査 技 術 科 学 専 攻	若 干 名
		理 学 療 法 学 専 攻	若 干 名
		作 業 療 法 学 専 攻	若 干 名
工 学 部	化 学 生 命 工 学 科	若 干 名	
	物 理 工 学 科	若 干 名	
	マ テ リ ア ル 工 学 科	若 干 名	
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	若 干 名	
	機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	若 干 名	
	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科	若 干 名	
	環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	若 干 名	
農 学 部	生 物 環 境 科 学 科	若 干 名	
	資 源 生 物 科 学 科	若 干 名	
	応 用 生 命 科 学 科	若 干 名	

### Ⅲ 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「日本留学試験」、TOEFL 及び本学が実施する入学試験（学部・学科ごとに異なる。）の成績並びに出願書類により総合的に行います。

#### 1. 試験期日

**平成31年 2 月 1 日（金）**

#### 2. 試験科目及び試験時間等

各学部（学科）が指定する全ての試験科目を受験しなければなりません。

学部（学科）		試験科目・試験時間	試験会場	集合時間・場所（配置図番号）
文	学 部	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～	文 学 部	9 時30分 文学部127講義室 (配置図：B-4) に集合
教	育 学 部	小 論 文 11時00分～ 11時45分 面 接 13時30分～	教 育 学 部	10時30分 教育学部玄関 (配置図：B-4) に集合
法	学 部	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～	法 学 部	9 時30分 法学部玄関 (配置図：C-4) に集合
経	済 学 部	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時30分～	経 済 学 部	9 時30分 経済学部玄関 (配置図：C-4) に集合
情	報 学 部	小 論 文 11時00分～ 12時20分 面 接 14時00分～	情 報 学 部	10時30分 情報学部北玄関 (配置図：B-4) に集合
理	学 部	面 接 14時00分～	理 学 部	13時30分 理学部教務学生係 (配置図：D-2) に集合
医 学 部	医 学 科	筆記試験 14時00分～ 15時00分 面 接 15時15分～	医 学 科	13時30分 医学部基礎研究棟1階会議室1 (学務課前) (鶴舞地区試験場 配置図) に集合
	保 健 学 科	[看護学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学] 小 論 文 10時00分～ 11時30分 面 接 12時00分～ [放射線技術科学] 面 接 10時00分～	保 健 学 科	9 時30分 医学部大幸地区事務統括課教 務学生係 (大幸地区試験場配 置図) に集合
工 学 部	化 学 生 命 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～	工 学 部	9 時20分 I B 電子情報館015講義室 (配置図：C-3) に集合
	物 理 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 10時50分 基礎科目 11時00分～ 12時00分 面 接 13時00分～		
	マ テ リ ア ル 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～		
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 10時50分 面 接 14時00分～		
	機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～		
	エ ネ ルギ- 理 工 学 科	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～		
環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	小 論 文 10時00分～ 11時00分 面 接 13時00分～			
農	学 部	小 論 文 10時00分～ 10時45分 面 接 13時00分～	農 学 部	9 時30分 農学部第5講義室 (配置図：E-2) に集合

【注】(1)各学部（学科）の集合場所は、41頁、42頁の配置図で確認してください。

(2)各学部（学科）の集合時間は厳守してください。



### 3. 実施方法及び出題範囲

学部・学科等		試験科目	出題範囲等	
文学部		小論文	日本語で実施	
		面接	日本語で実施	
教育学部		小論文	日本語で実施	
		面接	日本語で実施	
法学部		小論文	日本語で実施	
		面接	日本語で実施（筆記試験問題に関連する追加質問のほか、専門分野に関する学習到達度の確認を目的とする口頭試問を含む。）	
経済学部		小論文	日本語で実施	
		面接	日本語で実施	
情報学部		小論文	日本語で実施	
		面接	日本語で実施（人間・社会情報学科は、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」に関する口頭試問を含む。）	
理学部	数理学科	面接	日本語で実施（数学に関する口頭試問を含む。）	
	物理学科	面接	日本語で実施（数学及び物理に関する口頭試問を含む。）	
	化学科	面接	日本語で実施（数学及び化学に関する口頭試問を含む。）	
	生命理学科	面接	日本語で実施（生物、化学及び物理に関する口頭試問を含む。）	
	地球惑星科学科	面接	日本語で実施（数学、地学、物理、化学及び生物に関する口頭試問を含む。）	
医学部	医学科	筆記試験（理科）	生命科学を中心として出題	
		面接	日本語で実施（口頭試問を含む。）	
	保健学	看護学専攻	小論文	日本語で実施
			面接	日本語で実施
	保健学	放射線技術科学専攻	面接	日本語で実施（口頭試問を含む。）
		検査技術科学専攻	小論文	日本語で実施（一部に英語に関する課題を含む。）
	面接		日本語で実施	
	保健学	理学療法学専攻	小論文	日本語で実施（一部に英語に関する課題を含む。）
			面接	日本語で実施
		作業療法学専攻	小論文	日本語で実施
面接			日本語で実施	

学部・学科等		試験科目	出題範囲等
工学部	化学生命工学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	物理工学科	小論文	日本語で実施
		基礎科目(物理)	「物理基礎・物理」より出題
		基礎科目(数学)	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」より出題【注】(2)
		面接	日本語で実施(上記基礎科目に関する口頭試問を含む。)
	マテリアル工学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	電気電子情報工学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	機械・航空宇宙工学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	エネルギー理工学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	環境土木・建築学科	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施
	農学部	小論文	日本語で実施
		面接	日本語で実施(基礎学力としての日本語, 理科, 数学に関する口頭試問を含む。)

【注】(1) 上表中の「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「物理基礎」, 「物理」は, 日本の高等学校教育課程の科目です。

(2) 「数学A」においては, すべての分野を, 「数学B」においては, 「数列」, 「ベクトル」の2分野を学習しておくことが望ましい。

## IV 出願手続

### 1. 出願書類の提出方法

出願に当たっては、「3. 出願に要する書類等」を一括して本学所定の封筒に入れ、志望学部等のあて先へ速達書留郵便で送付してください。

(一つの封筒には、1名分のみ封入し、2名分以上封入しないでください。)

志望学部等	あて先		電話番号	
文 学 部	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)	名古屋大学文学部入試担当	(052) 789-2207	
教 育 学 部			名古屋大学教育学部入試担当	(052) 789-2606
法 学 部			名古屋大学法学部入試担当	(052) 789-2317
経 済 学 部			名古屋大学経済学部入試担当	(052) 789-2357
情 報 学 部	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-1(780)	名古屋大学情報学部教務学生係	(052) 789-4823	
理 学 部	〒464-8602 名古屋市千種区不老町 D3-6(500)	名古屋大学理学部教務学生係	(052) 789-2808	
工 学 部	〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C3-1(600)	名古屋大学工学部教務課	(052) 789-3974	
農 学 部	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 E2-1(300)	名古屋大学農学部教務学生係	(052) 789-4010	
医学部医学科	〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65	名古屋大学医学部学務課学務係	(052) 744-2430	
医学部保健学科	〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20	名古屋大学医学部大幸地区事務統括課教務学生係	(052) 719-1521	

### 2. 出願期間

平成30年12月26日(水)～平成31年1月7日(月) 16時必着

【注】(1) 出願書類の提出は郵送に限ります。

(2) 出願期限後に到着したものは受理しません。

### 3. 出願に要する書類等

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	志願票	本学所定のものに必要事項を記入の上、写真(たて4cm×よこ3cm、上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影のもの)を貼ってください。また、写真の裏面に志望学部(学科等)・氏名を記入してください。
②	写真票及び受験票	本学所定のものに必要事項を記入の上、写真票には写真(志願票と同じもの)を貼ってください。
③	日本の高等学校に相当する学校の卒業(修了)証明書(又は見込証明書)及び学業成績証明書	日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。なお、大学・その他の学校等の在学期間のある者は、在学証明書又は卒業(修了)証明書(又は見込証明書)も提出してください。
④	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)の合格証書(写)	左記の検定に合格した者のみ提出してください。 (大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等が該当します。 日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。
⑤	日本の大学に入学するための準備教育を行う指定された日本語学校等(27頁～31頁参照)の成績証明書及び修了証明書(又は見込証明書)	左記の学校等を修了(見込を含む。)したことにより、出願資格を得た者のみ提出してください。日本語又は英語以外で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。
⑥	国家試験等の統一試験成績評価証明書	国家試験等の統一試験のある国では、その統一試験を受験していることが望ましい。受験した場合は、成績評価証明書を提出してください。

		<p>* 国家試験等の例</p> <p>① 大韓民国 大学修学能力試験</p> <p>② アメリカ合衆国 ・ SAT (Scholastic Assessment Test) ・ ACT (American College Testing)</p> <p>③ 連合王国 GCE (General Certificate of Education)</p> <p>④ その他の国の教育制度によるもの 試験の内容、性格、成績分布等を示す資料を添付してください。</p>
⑦	国際バカロレア資格証書(写)と最終試験6科目の成績評価証明書	出願資格(2)イの国際バカロレア資格を取得した者のみ提出してください。
⑧	アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書及び成績評価証明書(写)	出願資格(2)ウのアビトゥア資格を取得した者のみ提出してください。
⑨	バカロレア資格証書(写)及び成績証明書	出願資格(2)エのバカロレア資格を取得した者のみ提出してください。
⑩	「日本留学試験」の成績通知書(写)及び同受験票(写)	本年度に2回受験した者は、いずれか1回の成績通知書(写)及び受験票(写)を提出してください。 *必ず成績通知書(写)と受験票(写)の両方を提出してください。
⑪	TOEFLの成績通知書  〔(写)は不可、ただしExaminee Score Reportは(写)でも可〕	<p>【TOEFLのスコア提出】</p> <p>TOEFLは、公式スコア「Official Score Report」と受験者に届く「Examinee Score Report(写)」の両方が必要になりますので以下の点に留意してください。</p> <p>①「Official Score Report」は、出願期間最終日までにETSから本学教育推進部入試課に届くように、所定の手続きをしておいてください。(手続き時に本学のDIコード「0312」を指定された方法で記入すれば直送できます。)</p> <p>②出願書類提出時に「Examinee Score Report(写)」を他の出願書類と一緒に提出してください。</p>
⑫	在留カード(写)の両面、又は国籍及び在留資格を確認できるもの	原則として、在留カード(写)の両面を提出してください。国籍及び在留資格を確認できるものとは、例えば、パスポートの(写)、在日公館の証明書(日本語又は英語で作成されたものとし、これらの言語以外の場合は訳文を添付してください。)等です。
⑬	検定料 17,000円	郵便局において、17,000円の普通為替を作成してください。ただし、受取人指定欄等には一切記入しないでください。なお、出願書類を受理した後は、いかなる場合でも検定料の返還はしません。
⑭	領収証書及び領収証書(控)	本学所定のもの 氏名を記入してください。
⑮	受験票等送付用封筒	本学所定のもの1通(長形3号) 日本国内の連絡先の住所、郵便番号、氏名を記入し、372円分の切手を貼ってください。なお、団地・アパート等に居住している人は、棟番号、戸番号まで必ず記入してください。下宿等の場合は、「〇〇方」などの方書きを必ず記入してください。
⑯	合格通知・入学手続書類等送付用シール	本学所定のもの 日本国内の連絡先の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

【注】(1) ③～⑨の証明書において、科目名、成績評価等が符号、略字等により表示されている場合は、説明書を添付してください。

(2) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。

(3) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。

(4) 志願票はじめ出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

#### 4. 受験票の交付

受験票は、平成31年1月15日（火）に大学から郵送により発送します。

#### 5. 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ本学と相談してください。

##### (1) 相談の時期

平成30年12月3日（月）まで

##### (2) 相談の方法

以下の3点の書類（日本語又は英語で作成されたものとし、これらの言語以外の場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。）を提出してください。なお、必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行います。

- ① 志望学部・学科（専攻）、障害等の状況、受験上の配慮を希望する事項等及び志願者本人の氏名、住所、電話番号を記載したもの（様式は自由、用紙はA4サイズ）
- ② 障害等に関する医師の診断書、障害者手帳等（写しでもかまいません。）
- ③ 出身学校関係者の添書（学校における生活状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので、様式は自由、用紙はA4サイズ）

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある者は、お問い合わせください。

##### (3) 相談先

本学教育推進部入試課（裏表紙参照）まで相談してください。

#### 6. その他

入学試験に関する照会は、照会者本人の日本国内の連絡先の郵便番号、住所、氏名を明記し、82円切手を貼った小封筒を同封の上、本学教育推進部入試課（裏表紙参照）まで問い合わせてください。

## V 受験上の注意

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の受験票及び名古屋大学の受験票の二つは、志望学部（学科）が実施する入学試験当日必ず持参してください。

また、二つの受験票は入学手続等の諸手続に必要なので、試験終了後も保管しておいてください。

## VI 合格者発表

平成31年2月18日（月）に大学から合格者に合格通知書を郵便により発送します。なお、電話等による合否の問合せには応じません。

また、同日11時からインターネットの下記サイト（パソコン、携帯電話共通）で合格者の受験番号を確認することができます。ただし、インターネットでの発表はあくまでも参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

URL <http://daigakuic.jp/nagoya-u/>

## Ⅶ 入学手続

入学手続に関する書類等は、平成31年3月初旬に合格者あてに郵便により発送します。

入学手続は、下記の日時に行ってください。

所定の期間内に入学手続を行わなかった場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱いますので、十分注意してください。

なお、本学は、自動車、バイク等での入構はできませんので、必ず公共交通機関等を利用してください。

### 1. 日時・場所

場 所	期 日	取 扱 時 間
シンポジオン	平成31年3月14日(木)	13:30～15:30
	平成31年3月15日(金)	9:30～11:30

【注】(1) シンポジオンの場所は、41頁の配置図(D-3)で確認してください。

(2) やむを得ない事情により上記の日時に手続ができない場合は、必ず前もって本学教育推進部入試課〔電話(052)789-5765〕へ連絡してください。

### 2. 入学科等学生納入金(予定額)

学部(学科)	入 学 料	授 業 料	学生教育研究災害傷害保険料 (*は学研災付帯賠償責任保険を含む。)
文 学 部	282,000円	前期分 267,900円 年 額 535,800円	3,300円
教 育 学 部			*4,660円
法 学 部			3,300円
経 済 学 部			3,300円
情 報 学 部			*4,660円
理 学 部			*4,660円
医 学 部 医 学 科			*7,800円
医学部保健学科(看護学専攻)			*5,370円
医学部保健学科(看護学専攻以外)			3,370円
工 学 部			*4,660円
農 学 部			*4,660円

【注】(1) 入学時又は在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな入学科額及び授業料額が適用されます。

(2) 入学科は、後日送付する入学手続要領を参照の上、郵便局の窓口で払い込んでください。

(3) 納入済みの入学科は返還しません。

(4) 授業料は、入学後に納入してください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険料は、学部(学科)により異なります。

保険料は、入学手続要領を参照の上、郵便局の窓口で払い込んでください。

なお、保険料の改定が行われた場合、改定時から新たな保険料が適用されます。

(6) その他、入学に必要な手続の詳細は、入学手続要領を参照してください。

## Ⅷ 個人情報の取扱い

(1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に取り扱います。

(2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。

(3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(4) 上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学が委託した業者に対して、当該業務を遂行するために必要となる限度内で個人情報の全部又は一部を提供します。

## (別表1) 文部科学大臣指定準備教育課程一覧

※掲載されている情報は平成28年2月18日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

準備教育課程の名称	位置	備考
東京外国語大学留学生日本語教育センター学部留学生準備教育課程	東京都府中市	
大阪外国語大学留学生日本語教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市	平成十二年四月一日以降、平成十八年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪外国語大学日本語日本文化教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市	平成十八年四月一日以降、平成十九年九月三十日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪大学日本語日本文化教育センター学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市	
拓殖大学言語文化研究所附属日本語研修センター準備教育課程	東京都文京区	平成十二年四月一日以降、平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
拓殖大学日本語学校準備教育課程	東京都文京区	平成十五年四月一日以降、平成十九年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
京都コンピュータ学院鴨川校京都日本語研修センター進学準備1年コース及び進学準備1年半コース	京都府京都市	
大阪YMCA学院日本語学科1年コース、日本語学科1年半コース及び日本語学科2年コース	大阪府大阪市	平成十八年四月一日以降、平成二十一年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
大阪YMCA学院総合日本語1年コース、総合日本語1年半コース及び総合日本語2年コース	大阪府大阪市	
環球日本語学習院日本語科進学準備2年コース	宮城県仙台市	平成二十三年四月一日以降、平成二十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
環球日本語学習院進学特別課程二年コース及び進学特別課程一年半コース	宮城県仙台市	
セントメリー日本語学院準備教育課程Aコース及び準備教育課程Bコース	栃木県宇都宮市	
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備1年課程及び進学準備1年半課程	埼玉県さいたま市	平成十六年四月一日以降、平成十九年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備2年課程及び進学準備1年半課程	埼玉県さいたま市	平成十九年四月一日以降、平成二十二年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人三井学園武蔵浦和日本語学院進学準備課程2年コース及び進学準備課程1年6か月コース	埼玉県さいたま市	
大原日本語学院準備教育課程1年コース及び準備教育課程1年半コース	東京都千代田区	
学校法人新井学園赤門会日本語学校本校大学進学のための準備教育2年コース及び大学進学のための準備教育1.5年コース	東京都荒川区	
カルチャー・アンド・ランゲージ・センター日本語学校日本語学科1、日本語学科2及び日本語学科3	東京都新宿区	平成十三年四月一日以降、平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
KCP地球市民日本語学校特別進学課程1年半コース及び特別進学課程2年コース	東京都新宿区	
国際学友会日本語学校進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	東京都新宿区	平成十二年四月一日以降、平成十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構東京日本語教育センター進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	東京都新宿区	
財団法人言語文化研究所附属東京日本語学校進学科1年コース、進学科1年半コース及び進学科2年コース	東京都渋谷区	平成十二年四月一日以降、平成二十一年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
学校法人長沼スクール東京日本語学校進学科1年コース、進学科1年半コース及び進学科2年コース	東京都渋谷区	
淑徳日本語学校大学進学課程A及び大学進学課程B	東京都板橋区	
新宿日本語学校日本語学科1、日本語学科2及び日本語学科3	東京都新宿区	
ジェット日本語学校日本語進学科A及び日本語進学科B	東京都北区	
千駄ヶ谷日本語学校日本語学科I部準備教育課程2年コース、日本語学科I部準備教育課程1年6ヶ月コース、日本語学科II部準備教育課程2年コース及び日本語学科II部準備教育課程1年6ヶ月コース	東京都豊島区	平成十八年四月一日以降、平成二十二年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。

千駄ヶ谷日本語学校日本語学科Ⅰ部準備教育課程1年6ヶ月コース、日本語学科Ⅰ部準備教育課程2年コース、日本語学科Ⅱ部準備教育課程1年6ヶ月コース及び日本語学科Ⅱ部準備教育課程2年コース	東京都 新宿区	
東京工科大学附属日本語学校大学準備教育2年コース	東京都 大田区	平成二十二年四月一日以降、平成二十三年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
東京国際大学付属日本語学校準備教育課程A学科及び準備教育課程B学科	東京都 新宿区	
東京国際大学付属日本語学校準備教育課程4月コース及び準備教育課程10月コース	東京都 新宿区	
メロス言語学院日本語総合準備教育2年課程、日本語総合準備教育1年6ヶ月課程及び日本語総合準備教育1年課程	東京都 豊島区	
山野日本語学校大学進学予備教育1年コース及び大学進学予備教育1年半コース	東京都 渋谷区	平成十二年四月一日以降、平成十五年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
山野日本語学校大学進学準備教育1年コース及び大学進学準備教育1年半コース	東京都 渋谷区	
国際ことば学院大学進学コース	静岡県 静岡市	平成十四年四月一日以降、平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
国際ことば学院日本語学校大学進学コース	静岡県 静岡市	
静岡日本語教育センター進学特別課程	静岡県 静岡市	
学校法人育英館関西言語学院進学準備教育1年半コース及び進学準備教育1年コース	京都府 京都市	
関西国際学会友会日本語学校本科課程1年コース及び本科課程1年半コース	大阪府 大阪市	平成十二年四月一日以降、平成十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構大阪日本語教育センター本科課程1年コース及び本科課程1年半コース	大阪府 大阪市	平成十六年四月一日以降、平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
日本学生支援機構大阪日本語教育センター進学課程1年コース及び進学課程1年半コース	大阪府 大阪市	
英数学館岡山校日本語科大学進学準備1年半コース	岡山県 岡山市	平成十四年四月一日以降、平成二十年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
九州英数学館国際言語学院日本語学科大学進学準備コース	福岡県 福岡市	平成十二年四月一日以降、平成十三年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
九州英数学館国際言語学院日本語学科大学進学準備1.5年コース及び日本語学科大学進学準備2年コース	福岡県 福岡市	
財団法人アジア学生文化協会留学生日本語コース大学進学準備1年課程及び留学生日本語コース大学進学準備1.5年課程	東京都 文京区	平成十二年四月一日以降、平成二十六年三月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
公益財団法人アジア学生文化協会留学生日本語コース大学進学準備1年課程及び留学生日本語コース大学進学準備1.5年課程	東京都 文京区	
東京ギャラクシー日本語学校準備教育課程2年コース及び準備教育課程1年6か月コース	東京都 中央区	
帝京マレーシア日本語学院日本留学準備教育課程15か月コース、日本留学準備教育課程18か月コース及び日本留学準備教育課程20か月コース	マレーシア クアラルンプール	平成十六年四月一日以降、平成十八年十二月三十一日までに当該課程に入学した者に限る。
帝京マレーシア日本語学院日本留学準備教育課程12か月コース、日本留学準備教育課程18か月コース及び日本留学準備教育課程20か月コース	マレーシア クアラルンプール	

・このほか、中国赴日本国留学生予備学校（中華人民共和国吉林省）があります。

(別表2)

※掲載されている情報は平成22年4月1日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

上 欄	中国帰国者定着促進センター（埼玉県）、大阪中国帰国者定着促進センター、福岡中国帰国者定着促進センター
中 欄	北海道、山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下 欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター



(別表3) 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧(12年以上の課程)

※掲載されている情報は平成27年3月13日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

学 校 名	所在する都道府県	備 考
インスチット・エドゥカレ(名称変更前のエスコラ・ピ ンゴ・デ・ジェンテを含む。)	茨城県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
エスコラ・エ・クレシェ・ド・グルーボ・オピソン	茨城県	
インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ	群馬県	
インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラ ジレイロ・デ・オイズミ	群馬県	
エスコラ・パラレロ各種学校(名称変更前のエスコラ・ パラレロ 太田校を含む。)	群馬県	
伯人学校イーエーエス太田(名称変更前のコレジオ・ピタ ゴラス・ブラジル 太田校を含む。)	群馬県	
エスコラ・インテルクートウラウ・ユニフィカーダ・アル コ・イリス	埼玉県	平成26年12月8日以降に当該課程を修了した 者に限る。
各種学校インスチット エドゥカシオナル ティー・エス レクレーソン	埼玉県	
コロンビア・インターナショナルスクール	埼玉県	
インドネシア学校東京	東京都	
カナディアン・インターナショナルスクール	東京都	
東京韓国学校中・高等部(名称変更前の東京韓国学校を含む。)	東京都	
東京国際フランス学園(名称変更前のリセ・フランコ・ジャ ポネ・ド・トウキョウ及びリセ・フランコ・ジャポネ・ド 東京 柳北校を含む。)	東京都	
東京中華学校	東京都	
東京横浜独逸学園	神奈川県	
横浜中華学院	神奈川県	
アルプス学園(名称変更前のコレジオ・ピタゴラス・ブラ ジル 山梨校を含む。)	山梨県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
コレジオ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス	長野県	
長野日伯学園(名称変更前のコレジオ・ピタゴラス・ブラ ジル 長野校を含む。)	長野県	
コレジオ・イザキ・ニュートン	岐阜県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターバ	岐阜県	
ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール	岐阜県	
HIRO 学園 エスコラ ブラジレイラ プロフェッソール カワセ(名称変更前のエスコラ・ブラジレイラ・プロフェ ッソール・カワセを含む。)	岐阜県	
エスコラ・アウカンセ	静岡県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
エスコラ・ノヴァ・エラ	静岡県	
エスコラ・ブラジル(名称変更前のエスコラ・ブラジレ イラ・デ・ハママツを含む。)	静岡県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・イ・プロフィシオナリザンチ CEP ブラジル	静岡県	
伯人学校イーエーエス浜松(名称変更前のエスコラ・アレ グリア・デ・サベール 浜松校を含む。)	静岡県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
ムンド・デ・アレグリア学校(ブラジル課程に限る。)	静岡県	平成25年1月31日以降に当該課程を修了した 者に限る。
エスコラ・サンパウロ	愛知県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
エスコラ・ネクター	愛知県	
コレジオ・ブラジル-ジャボン・プロフェッソール・シノダ	愛知県	
伯人学校イーエーエス豊田(名称変更前のエスコラ・アレ グリア・デ・サベール 豊田校を含む。)	愛知県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した 者に限る。
伯人学校イーエーエス豊橋(名称変更前のエスコラ・アレ グリア・デ・サベール 豊橋校を含む。)	愛知県	
伯人学校イーエーエス碧南(名称変更前のエスコラ・アレ グリア・デ・サベール 碧南校を含む。)	愛知県	

ニッケン学園	三重県	
伯人学校イーエーエス鈴鹿（名称変更前のエスコラ・アレグリア・デ・サベール 鈴鹿校を含む。）	三重県	平成18年2月6日以降に当該課程を修了した者に限る。
日本ラチーノ学院（名称変更前のコレージョ・ラティーノ・デ・シガを含む。）	滋賀県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 真岡校	栃木県	平成18年2月6日から平成21年12月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・パラレロ 伊勢崎校	群馬県	平成18年2月6日から平成21年3月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ	埼玉県	平成18年2月6日から平成21年3月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス	埼玉県	平成18年2月6日から平成22年4月1日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・パラレロ 伊那校	長野県	平成18年2月6日から平成18年12月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
セントロ・エドカシヨナル・ノヴォ・ダマスコ	長野県	平成24年3月14日までに当該課程を修了した者に限る。
インスチット・エドカシヨナル・エマヌエウ	岐阜県	平成18年2月6日から平成19年9月14日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ	静岡県	平成18年2月6日から平成21年10月31日までの間に当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・ニッポ・ブラジレイラ	静岡県	平成18年2月6日から平成21年10月5日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 浜松校	静岡県	平成18年2月6日から平成24年5月8日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・アウレオ	愛知県	平成18年2月6日から平成22年5月15日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ドン・ボスコ	愛知県	平成18年2月6日から平成23年3月11日までの間に当該課程を修了した者に限る。
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 愛知校	愛知県	平成18年2月6日から平成24年5月8日までの間に当該課程を修了した者に限る。
京都韓国中学	京都府	平成18年3月31日までに当該課程を修了した者に限る。

(別表4) 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧（12年未満の課程）

※掲載されている情報は平成27年3月13日現在のものです。以降の更新情報については、文部科学省のホームページでご確認ください。

学 校 名	所在する都道府県	備 考
ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）	静岡県	平成18年2月5日までに当該課程を修了した者に限る。
エスコラ・エ・クレシェ・ド・グルーボ・オピソン	茨城県	
エスコラ・ピングゴ・デ・ジェンテ	茨城県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 真岡校	栃木県	
インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ	群馬県	
インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイヅミ	群馬県	
エスコラ・パラレロ 伊勢崎校（名称変更前のエスコラ・パラレロ 東村校を含む。）	群馬県	
エスコラ・パラレロ 太田校	群馬県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 太田校	群馬県	
セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ	埼玉県	
セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス	埼玉県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 山梨校	山梨県	
エスコラ・パラレロ 伊那校	長野県	
コレージョ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス	長野県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 長野校	長野県	
インスチット・エドカシヨナル・エマヌエウ	岐阜県	
エスコラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ	岐阜県	
セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターバ	岐阜県	

ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール	岐阜県	平成18年2月5日までに当該課程を修了した者に限る。
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 浜松校	静岡県	
エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ	静岡県	
エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ	静岡県	
エスコーラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ	静岡県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 浜松校	静岡県	
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 豊田校	愛知県	
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 豊橋校	愛知県	
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 碧南校	愛知県	
エスコーラ・サンパウロ	愛知県	
エスコーラ・ネクター	愛知県	
コレージョ・アウレオ	愛知県	
コレージョ・ドン・ボスコ	愛知県	
コレージョ・ピタゴラス・ブラジル 愛知校（名称変更前のコレージョ・ピタゴラス・ブラジル 半田校を含む。）	愛知県	
エスコーラ・アレグリア・デ・サベール 鈴鹿校	三重県	
コレージョ・ラティーノ・デ・シガ	滋賀県	

Ⅸ 平成30年度 名古屋大学私費外国人留学生入試  
志願者・受験者・合格者数一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
文 学 部		若 干 名	11	10	4	
教 育 学 部		若 干 名	10	7	3	
法 学 部		若 干 名	11	8	3	
経 済 学 部		若 干 名	39	30	10	
情 報 学 部	自 然 情 報 学 科	若 干 名	4	4	1	
	人 間・社会情報学科	若 干 名	12	10	0	
	コ ン ピ ュ ー タ 学 科	若 干 名	26	24	3	
	小 計	—	42	38	4	
理 学 部	数 理 学 科	若 干 名	7	6	2	
	物 理 学 科	若 干 名	3	3	1	
	化 学 科	若 干 名	4	4	0	
	生 命 理 学 科	若 干 名	4	4	0	
	地 球 惑 星 学 科	若 干 名	0	0	0	
	小 計	—	18	17	3	
医 学 部	医 学 科	若 干 名	4	4	1	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 名	0	0	0
		放 射 線 技 術 学 科 専 攻	若 干 名	1	1	1
		検 査 技 術 学 科 専 攻	若 干 名	1	1	1
		理 学 療 法 学 科 専 攻	若 干 名	1	1	1
		作 業 療 法 学 科 専 攻	若 干 名	0	0	0
		計	—	3	3	3
	小 計	—	7	7	4	
工 学 部	化 学 生 命 工 学 科	若 干 名	16	16	2	
	物 理 工 学 科	若 干 名	7	7	2	
	マ テ リ ア ル 工 学 科	若 干 名	8	6	1	
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	若 干 名	8	7	2	
	機 械・航空宇宙工学科	若 干 名	8	8	1	
	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科	若 干 名	2	2	1	
	環 境 土 木・建築学科	若 干 名	12	9	1	
	小 計	—	61	55	10	
農 学 部	生 物 環 境 学 科	若 干 名	2	2	1	
	資 源 生 物 学 科	若 干 名	7	7	3	
	応 用 生 命 学 科	若 干 名	10	9	3	
	小 計	—	19	18	7	
合 計		—	218	190	48	

# 名古屋大学の概要

## 1. 沿革

### ●前身校期

1871 (明治4)年	仮病院 仮医学校開設
1872 (明治5)年	義病院設置
1873 (明治6)年	仮病院 医学講習場設置
1875 (明治8)年	愛知県病院設置
1876 (明治9)年	公立医学講習場 公立医学所設置
1878 (明治11)年	公立医学校設置
1881 (明治14)年	愛知医学校設置
1901 (明治34)年	愛知県立医学校設置
1903 (明治36)年	愛知県立医学専門学校設置
1908 (明治41)年	第八高等学校設置
1920 (大正9)年	愛知医科大学設置 名古屋高等商業学校設置
1931 (昭和6)年	(官立移管) 名古屋医科大学設置

### ●帝国大学 (旧制大学) 期

1939 (昭和14)年	名古屋帝国大学創設 (医学部と理工学部の2学部) 名古屋帝国大学臨時附属医学専門部設置
1942 (昭和17)年	名古屋帝国大学理工学部を理学部と工学部に分離
1943 (昭和18)年	名古屋帝国大学航空医学研究所設置 (1946年廃止)
1944 (昭和19)年	名古屋工業経営専門学校設置 (1946年廃止) 名古屋経済専門学校設置 名古屋帝国大学附属医学専門部設置
1945 (昭和20)年	岡崎高等師範学校設置
1946 (昭和21)年	名古屋帝国大学環境医学研究所設置
1947 (昭和22)年	名古屋大学 (旧制) と改称
1948 (昭和23)年	名古屋大学文学部, 法経学部を設置

### ●新制大学期

1949 (昭和24)年	旧制名大, 医専部, 八高, 名経専, 岡崎高師を包括 文, 教育, 法経, 理, 医, 工の6学部及び環境医学研究所で新制名古屋大学として発足 空電研究所, 附属図書館, 分校 (教養部) を設置
1950 (昭和25)年	法経学部を法学部と経済学部に分離
1951 (昭和26)年	農学部設置
1953 (昭和28)年	文学, 教育学, 法学, 経済学, 理学, 工学の6研究科を設置 (文学研究科2017年廃止)
1955 (昭和30)年	医学, 農学の2研究科を設置
1961 (昭和36)年	プラズマ研究所設置 (1989年廃止, 核融合科学研究所へ発展)
1963 (昭和38)年	教養部設置 (1993年廃止)
1971 (昭和46)年	大型計算機センター設置 (2002年廃止)
1973 (昭和48)年	水圏科学研究所設置
1977 (昭和52)年	名古屋大学医療技術短期大学部併設 (2001年廃止)
1990 (平成2)年	空電研究所を太陽地球環境研究所に改組
1991 (平成3)年	大学院国際開発研究科設置

1992 (平成4)年	大学院人間情報学研究科設置 (2003年廃止)
1993 (平成5)年	情報文化学部設置 (2017年廃止) 水圏科学研究所を大気水圏科学研究所に改組 (2001年廃止)
1995 (平成7)年	大学院多元数理科学研究科設置
1997 (平成9)年	大学院農学研究科を大学院生命農学研究科に改称
1998 (平成10)年	大学院国際言語文化研究科設置 (2017年廃止)
2000 (平成12)年	大学院教育学研究科を大学院教育発達科学研究科に改称
2001 (平成13)年	大学院環境学研究科設置 地球水循環研究センター設置 (2015年廃止)
2002 (平成14)年	情報連携基盤センター設置 (2009年廃止) 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
2003 (平成15)年	大学院情報科学研究科設置 (2017年廃止)

### ●国立大学法人期

2004 (平成16)年	国立大学法人名古屋大学設立 大学院法学研究科実務法曹養成専攻 (法科大学院) 設置
2006 (平成18)年	エコトピア科学研究所設置
2009 (平成21)年	情報基盤センター設置
2012 (平成24)年	大学院創薬科学研究科設置
2015 (平成27)年	太陽地球環境研究所等を宇宙地球環境研究所に改組 エコトピア科学研究所を未来材料・システム研究所に改組
2017 (平成29)年	大学院人文学研究科設置 情報学部設置 大学院情報学研究科設置
2018 (平成30)年	「指定国立大学法人」に指定

## 2. 教育課程

本学における教育課程の体系は次表のとおりです。各学部では、この教育課程に基づき、4年一貫（医学部医学科は6年一貫）教育課程を編成し、それぞれ卒業までに修めなければならない科目及びその単位数を定めています。

また、文学部では2年次、理学部では1年次、医学部医学科では2年次、3年次及び4年次、工学部では1年次及び2年次、農学部では2年次及び3年次終了時に、それぞれの学部で定める単位数を修得していないと、次学年に進級できません。

科目区分		内 容
専門系科目	専門科目	各学部の学科、専攻の専門系科目のうちの最も中核的な科目（卒業論文又は卒業研究を含む。）
	関連専門科目	専門科目の周辺に位置する科目で、専門科目の教育効果をより高めるための科目
	専門基礎科目	専門科目、関連専門科目などを理解するのに必要な、専門に直結した基礎教育科目
基礎科目	全学基礎科目	初年次生を大学教育へ導入し、自立した学習能力を身につけるとともに、文・理に共通した基礎的学力や技能を養う科目
	基礎セミナー	多面的な知的トレーニングによって、コモンベーシックとしての読み、書き、話す能力のかん養を図るとともに、真理探究の方法と面白さを学ぶ科目
	言語文化	専門的学習のツールとしての外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育む科目
	健康・スポーツ学	健康に関する自己管理能力、生涯スポーツの基礎となる技能の習得、スポーツを通じたコミュニケーション能力やリーダーシップを育む科目
	文系基礎科目	人文・社会科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目
	理系基礎科目	自然科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目
教養科目	文系教養科目	人文・社会科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目
	理系教養科目	自然科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目
	全学教養科目	専門分野を問わず、豊かな人間性を育み、総合的判断能力をかん養する科目
	開放科目	学生の自主的で多様な学習意欲に応えるため、学部等が開講する専門系授業科目のうち、他学部の学生の受講が可能であり、かつ、有意義であると認めて全学に開放する科目

【注】(1) 全学基礎科目・言語文化の履修については、次の言語文化科目の中から英語又は日本語を含む2つを選択する必要がありますので、あらかじめ考えておいてください。

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語及び日本語

(2) 英語を履修するに当たって、クラス分けのための「英語プレイスメント・テスト」を入学式前に入学生全員に対して行います。

この「英語プレイスメント・テスト」は、みなさんの「英語力」を客観的に判断して、「英語力」のレベルに応じてクラス分け（英語習熟度別クラス編成）をするためのテストです。あくまでもクラス分けのためのテストですから、その成績は学習指導に利用されるものであって、「英語」の成績には反映されません。

なお、詳細については、合格者に配付する入学手続書類を参照してください。

### 3. 学部・学科

学部、学科名及び1学年当たりの定員は次のとおりです。

なお、経済学部の入学者選抜は、学科別ではなく学部全体として行います。各学科や各専攻等へは、下記に示す時期に志望により配属されます。ただし、志望者が当該学科や専攻等の定員を超える場合は、選考を行うことがあります。

学部・専攻等への配属時期について

文学部（分野・専門への配属）	2年次の前期	情報学部（系への配属）	3年次の前期
教育学部（コースへの配属）	2年次の後期	工学部環境土木・建築学科 （プログラムへの配属）	2年次の前期
経済学部（学科への配属）	2年次の前期		

#### ◎ 文 学 部

人 文 学 科                    1 2 5 名

文芸言語学コース（言語学，日本語学，日本文学，英語学，英米文学，フランス語フランス文学，ドイツ語ドイツ文学，中国語中国文学），哲学倫理学コース（哲学，西洋古典学，中国哲学，インド哲学），歴史学・人類学コース（日本史学，東洋史学，西洋史学，美学美術史学，考古学，文化人類学），環境行動学コース（社会学，心理学，地理学）

#### ◎ 教 育 学 部

人 間 発 達 科 学 科                    6 5 名

生涯教育開発コース	心理社会行動コース
学校教育情報コース	発達教育臨床コース
国際社会文化コース	

#### ◎ 法 学 部

法 律 ・ 政 治 学 科                    1 5 0 名

#### ◎ 経 済 学 部

経 済 学 科                    1 4 0 名

経 営 学 科                    6 5 名

#### ◎ 情 報 学 部

自 然 情 報 学 科                    3 8 名  
数理情報系，複雑システム系

人 間 ・ 社 会 情 報 学 科                    3 8 名  
社会情報系，心理・認知科学系

コ ン プ ュ ー タ 科 学 科                    5 9 名  
情報システム系，知能システム系



◎ 理 学 部

数 理 学 科	55名	生 命 理 学 科	50名
物 理 学 科	90名	地 球 惑 星 学 科	25名
化 学 科	50名		

◎ 医 学 部

医 学 科	107名		
保 健 学 科	200名		
看 護 学 専 攻	80名	理 学 療 法 学 専 攻	20名
放 射 線 技 術 学 科 専 攻	40名	作 業 療 法 学 専 攻	20名
検 査 技 術 学 科 専 攻	40名		

◎ 工 学 部

化 学 生 命 工 学 科	99名	エ ネ ル ギ ー 工 学 科	40名
物 理 工 学 科	83名	環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	80名
マ テ リ ア ル 工 学 科	110名	環 境 土 木 工 学 プ ロ グ ラ ム	} JABEE 認 定 の 技 術 者 教 育 プ ロ グ ラ ム
電 気 電 子 情 報 工 学 科	118名	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	150名		

◎ 農 学 部

生 物 環 境 学 科	35名
資 源 生 物 学 科	55名
応 用 生 命 学 科	80名

## 4. 大 学 院

学部を卒業した後、更に専門分野について深く研究しようとする者は、選考を経て大学院に入学することができます。

本学の大学院には、人文学・教育発達科学・法学・経済学・情報学・理学・医学系・工学・生命農学・国際開発・多元数理科学・環境学・創薬科学の各研究科が設けられています。

研 究 科	専 攻	
人 文 学 研 究 科 (1 専攻)	人文学	
教育発達科学研究科 (2 専攻)	教育科学, 心理発達科学	
法 学 研 究 科 (2 専攻)	総合法政, 実務法曹養成 (法科大学院)	
経 済 学 研 究 科 (2 専攻)	社会経済システム, 産業経営システム	
情 報 学 研 究 科 (6 専攻)	数理情報学, 複雑系科学, 社会情報学, 心理・認知科学, 情報システム学, 知能システム学	
理 学 研 究 科 (4 専攻)	素粒子宇宙物理学, 物質理学, 生命理学, 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学	
医学系研究科	修士課程 (1 専攻)	医科学
	前期課程 (3 専攻)	看護学, 医療技術学, リハビリテーション療法学
	医学博士課程 (3 専攻)	総合医学, 名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学, 名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学
	後期課程 (3 専攻)	看護学, 医療技術学, リハビリテーション療法学
工 学 研 究 科 (17 専攻)	有機・高分子化学, 応用物質化学, 生命分子工学, 応用物理学, 物質科学, 材料デザイン工学, 物質プロセス工学, 化学システム工学, 電気工学, 電子工学, 情報・通信工学, 機械システム工学, マイクロ・ナノ機械理工学, 航空宇宙工学, エネルギー理工学, 総合エネルギー工学, 土木工学	
生 命 農 学 研 究 科 (5 専攻)	森林・環境資源科学, 植物生産科学, 動物科学, 応用生命科学, 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学	
■ 国 際 開 発 研 究 科 (1 専攻)	◆ 国際開発協力	
■ 多 元 数 理 科 学 研 究 科 (1 専攻)	◆ 多元数理科学	
■ 環 境 学 研 究 科 (3 専攻)	◆ 地球環境科学, ◆ 都市環境学, ◆ 社会環境学	
■ 創 薬 科 学 研 究 科 (1 専攻)	◆ 基盤創薬学	

【注】 ■…独立研究科 ◆…独立専攻

## 募集要項，大学案内及び学部紹介冊子の請求方法

### (1) 本学のホームページから請求する場合

本学のホームページからモバっちょを利用して募集要項，大学案内及び学部紹介冊子の資料が請求できます。（名古屋大学ホームページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/>）トップページの「入学案内」→「学部募集要項／大学案内など」→「学生募集要項・大学案内等の入手方法」）

### (2) 『モバっちょ』から請求する場合

携帯電話，スマートフォン，パソコンから請求できます。



<http://djc-mb.jp/nagoya-u9/>

### 【料金の支払い方法】

#### ① 請求時払い

携帯払い，スマホ払い，クレジットカード払いができます。（別途手数料が50円必要です。）

※携帯電話・スマホの機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合，コンビニ後払いを選択してください。

#### ② コンビニ後払い

資料到着後，コンビニでお支払いください。（別途手数料が126円必要です。）

### ■上記請求方法についての問合せ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL. 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

(3) 郵送で請求する場合

それぞれ下表により本人の受信場所、郵便番号、氏名を明記し、それぞれの送料（切手）を貼付した封筒（角形2号：約33×24cm）を同封して申し込んでください。なお、申込先への封筒の表には請求する資料名を明記してください。

資料名	郵送による申込先	送料
「私費外国人留学生募集要項」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D4-4 (100) 名古屋大学 教育推進部 入試課	205円
「大学案内」	TEL 052-789-5765	380円
文学部・人文学研究科紹介冊子 「文学部・人文学研究科案内」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700) 名古屋大学 文学部 入試担当 TEL 052-789-2206・2207	250円
教育学部紹介冊子 「教育学部案内」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700) 名古屋大学 教育学部 入試担当 TEL 052-789-2606・2607	205円
法学部紹介冊子 「法と政治を学ぶ」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700) 名古屋大学 法学部 入試担当 TEL 052-789-2316・2317	250円
経済学部紹介冊子 「経済学へのアプローチ」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700) 名古屋大学 経済学部 入試担当 TEL 052-789-2357	140円
情報学部紹介冊子 「情報学部案内」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-1 (780) 名古屋大学 情報学部 教務学生係 TEL 052-789-4823	140円
理学部紹介冊子 「理学部紹介」	〒464-8602 名古屋市千種区不老町 D3-6 (500) 名古屋大学 理学部 教務学生係 TEL 052-789-2401	250円
医学部医学科紹介冊子 「医学への道」	〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞65 名古屋大学 医学部 学務課 学務係 TEL 052-744-2430	205円
医学部保健学科紹介冊子 「保健学への道」	〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20 名古屋大学 医学部 大幸地区事務統括課 教務学生係 TEL 052-719-1518・1521	205円
工学部紹介冊子 「工学への道」	〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C3-1 (600) 名古屋大学 工学部 教務課 学生支援係 TEL 052-789-3599	205円
農学部紹介冊子 「農学部案内」	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 E2-1 (300) 名古屋大学 農学部 教務学生係 TEL 052-789-4010	140円

## ※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

- ◇ 名古屋大学ホームページ  
URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>
- ◇ 連絡窓口  
教育推進部入試課  
TEL 052-789-5765

## 〈Changes in examination schedule and procedures due to unforeseen circumstances〉

The examination schedule and selection measures may be modified in the event of an outbreak of infectious disease or other unforeseen circumstances. Please check the website regularly for the latest notices, especially in the days preceding the application and examination periods.

- Nagoya University Website  
<http://www.nagoya-u.ac.jp/>
- Contact Info:  
Admissions Division, Education and International Affairs Department  
Tel (052)789-5765

### 平成30年7月豪雨により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

平成30年7月豪雨により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。  
名古屋大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学試験の検定料免除の特別措置を実施いたします。  
なお、詳細は本学ホームページを確認してください。

- 本学ホームページ  
URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>  
大学からのお知らせ→受験生向け

### Entrance Exam Fee Special Exemption for Applicants who are Victims of the torrential rains in July of 2018

We express our deepest condolences to those who were affected by the torrential rains in July of 2018.  
Nagoya University will be implementing a special measure for entrance examination fee exemption to alleviate the economic burden on victims of the torrential rains in July of 2018, and to secure the educational opportunities of applicants from the affected areas.  
For details, please check the university website.

- University Website  
URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>  
Notice from the University → For Applicants

名古屋大学ホームページ

<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

携帯電話用ウェブサイト

<http://daigakujc.jp/nagoya-u/>

携帯電話用コードで  
アクセスできます。





名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY

## 名古屋大学教育推進部入試課

〒464-8601 名古屋市千種区不老町D4-4 (100) TEL. (052) 789-5765

●問合せは月曜日から金曜日の9時から17時（祝日を除く。）